

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライク坂本教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～ 令和8年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 20日		～ 令和8年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	IT療育特化型の事業所なので個々にあったスキルを身に付けることで、精神的自立、経済的自立につながる療育を提供している。	将来を見据えて、タイピングやプログラミングなど、個々の進み具合や興味、関心によって調整や変更をして課題を提供している。また、生活の中の課題を解決するために必要な物を、ITスキルを使って、自分で作りだせるようにしている。一人一人の特性とスキルに合わせて職員は肯定的な言葉を使って声掛けをしている。	ワード等を利用して、仕事を意識したトレーニングや取り組みを増やし、より自信につなげていきたい。一人一人にしっかり向き合い、寄り添っていきたい。
2	野外での運動活動や祝日、長期休みなどお出かけイベントを主催している。	パソコンだけではなく身体を思いきり動かし気分転換をしている。自然に触れ合ったり公共のマナーを勉強するために事前に注意喚起や説明をしている。外出に関しては、必ず職員同士で打ち合わせをし下見に行く。	企画から利用者といひ、より満足感が得られるような行事を検討していきたい。また、時間を意識し見通しを持って行動、計画できるようチームに分かれて公共交通機関をつかったお出かけをする。
3	職員のスキル、専門性、幅広い年代の職員による個別療育。	パソコンを始め、制作活動や、ボードゲーム遊び等、スタッフの得意や専門性活動を生かした支援を行っている。出来ることが増えていくことの実感が自信につながるように、本人の望みや習得状況に合わせて活動設定をします。	ITだけではなく長期休みなどには専門的支援を織り交ぜたイベントなどを企画する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	IT課題について長く利用している子供たちにマンネリ化しやすい。	取り組む課題数としては妥当だと思うが、長く通っている児童を中心に課題内容のマンネリ化が懸念されるので興味を持って取り組むことができるように、新しい課題や教材の導入などの検討が必要。	児童の年齢や技術の習得具合を考えながらそれぞれに合った課題の設定が必要。新しい教材や本、ロボットなど興味関心を持って取り組めるよう工夫する。
2	保護者や家族間同士での交流やイベントが少ない。地域の子供や住民との交流機会も少ない。	保護者参加型のイベントや研修会を実施したが、どうしても人数が限られてしまう。また、地域の子どもの交流が少ない。	イベントや研修会のテーマに合わせて保護者に周知し、年に数回行い、たくさんの保護者に参加していただけるようにしていきたい。
3	法人内や年間研修などは受けているが、外部の研修などにも参加したい。	日常の業務に追われなかなか全員が外部の研修などを受けることが難しかった。	スタッフの業務軽減のため、ICT化を進めていきたい。その分スキルアップのための研修に参加できるようにしていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ミライク坂本教室				公表日	R8年 3月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	体を動かす遊びができるように机の配置を変更してスペースを広く使えるようにしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		トイレが1つなので、感染症対策をマニュアル化し、対応していきたい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		個室が限られているので、使い方の工夫が必要。メインの療育スペースでも落ち着ける場所が必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	モニタリングだけでなく、終礼時に確認をする事も多い。	IT療育だけでなく、利用者と家族のニーズを踏まえた療育を意識し、常にブラッシュアップした取り組みができるようにする。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	朝のミーティング、終礼時に意見交換を行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	BCP災害・感染症・虐待等の研修を定期的に行っている。また、職員が自分で選択して研修へ参加できるように、周知している。	日々の業務の負担を減らし、より研修参加できるようにしていきたい。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	各家庭によってニーズの聞き取り方法を変更している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		IT療育の部分も含めた標準的な評価シートを取り入れていきたい。発達検査結果を上手く活用していきたい。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	利用者と家族のニーズにあったものを検討し、提案している。	支援担当者との共有にタイムラグがあるので、共有ノートをや支援の概要等を使い、スムーズに共有を行いたい。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		マンネリ化しないように、普段とは違った支援プログラムを取り入れていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼で共有事項の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼で共有事項の確認をしている。	振り返りをする事の線引きをする必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		地域交流の機会を取り入れたい。地域の公園の清掃活動等ができないか。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	学校の先生と情報共有をこまめにとっている。	併用している放課後等デイサービスとも連携していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	各学校の配信アプリを登録し、行事や下校時間を把握している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5		来年度から実施していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	地域のイベントに参加できた。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		周知しているが、積極的に参加できていないので、参加できるためのスタッフへのサポートを検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者参加研修を行えた。	家族のニーズに合わせた保護者会を今後も行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者参加研修を行えた。	家族のニーズに合わせた保護者会を今後も行う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	苦情相談マニュアルを策定している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1		業務のICT化を進め、スタッフの業務軽減を目指すし、その分SNSの定期更新を行っていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	家族への聞き取りの元、対応方法を確認し、一目でわかるようなフローチャートを作成している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	医師からの与薬依頼書を元に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		安全計画の内容をスタッフに周知をしていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットがあれば、迅速に報告書に記入し、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ミライク坂本教室

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 55

回収数 41

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	11	1	2	療育中に十分なスペースがあるか見てみたい。体を動かすには少し狭い気がする。	療育時の保護者見学を検討する。公園等、外での活動を増やす。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	2	0	5	療育中に適切な人数配置か見てみたい。	療育時の保護者見学を検討する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	3	0	4	1人で宿題したい時に別の場所があるので良い。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	3	3	2		
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	1	1	1	子どもの話をよく聞き理解してくれる。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	3	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	4	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	3	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	4	0	4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	4	5	18	自分の子どもには必要ないと感じる。	保護者のニーズに合わせて、検討する。
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	5	3	14		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	39	0	0	0	学校での出来事を引き継ぎ対応してくれている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1	2	4		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	1	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	8	6	13	兄弟参加のイベントがあると嬉しい。交流イベントに参加していないので、わからない。	家族のニーズに合わせて、必要なイベントや、保護者会を開催する。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	4	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	4	0	0	連絡の返事をすぐにくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	5	2	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	2	0	5	緊急時の対応の説明があったが、忘れてしまう。	SNSを使ったり、文書で保護者に通知する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	3	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	4	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	1	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	37	2	0	0	支援内容がパターン化しないようなイベントを取り入れてほしい。	IT療育だけでなく、利用者と家族のニーズを踏まえた療育を意識し、常にブラッシュアップした取り組みができるように
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	3	0	0		